

2022年3月7日

千葉市立小中台小学校同窓会会員，PTA 役員，校長
各位

小中台小学校同窓会会長
西田治文（第一回卒業）

同窓会の活動終了について

不安定な社会情勢のなか，安全にお過ごしであることを祈りつつ，標記につきご連絡とお願いを申し上げます。

小中台小同窓会は，1996（平成8）年3月に「会員相互の親睦を深め，母校を懐慕し，併せて小仲台地区の文化の振興と小中台小学校の発展に寄与する（会則）」を目的として発足し，以来25年間にわたり存続して参りました。しかし，毎年度の入・卒業式への祝金支出と会長の出席，年度末に行われる同窓会入会式と卒業予定者への会長挨拶，校内出版物への随時の寄稿や資料提供などを除き，目立った活動がありませんでした。2014年11月に挙行された創立50周年祝賀式典など，節目の行事には資金提供を申し出てきましたが，特段の支出要請もなく，2021年度終了時において約85万円の剰余金を残しております。

この度，2021年度卒業予定者の保護者から，各人300円の同窓会費に支払義務があるかどうか，また同窓会の活動と資金の支出について質問があり，これを機会に同窓会の存続意義と活動の検証を，学校及びPTAと話し合いました。その結果，以下の理由で本校同窓会はその役割を果たしたとの結論に達し，会の活動を終了することといたしました。

- 1) 実質的に役員会など規定の活動が停止している
- 2) 小学校卒業後の生徒の移動が把握しにくい
- 3) ネットが普及した時代において同窓会が果たす機能は低下している
- 4) 卒業生名簿を学校以外の組織が保管するのは好ましくない（実際は名簿などの情報はすべて学校が保管）
- 5) 学校への懐慕意識は同窓会以外でも継承していただける
- 6) 卒業生の浄財を整理し，まとめて活かすよい機会である
- 7) 通帳や名簿管理をお任せしている同窓会担当の先生の負担が解消する

本来であれば，会員全員のご意志を確認すべきところですが，実質的には不可能であることから，連絡が可能であった役員に確認のうえ，本同窓会はその活動を2022年3月31日をもって終了することといたします。

剰余金については，これまでの使用実績を学校及び小中台小学校PTAに確認していただいたのち，PTA活動資金の一部として寄付し，PTA会計の中では特別会計項目「同窓会寄付金」として活用いただくことで学校，PTAの了承を得ております。また，このことにつきましては，学校からもホームページなどを通じて広報していただく予定です。

各位のご理解と，母校への変わらぬ応援をいただけますよう，お願い申し上げます。